

Start for the future

採用案内



公益財団法人 東京都環境公社

東京の環境と向き合い、 その未来を変えていく。

公益財団法人東京都環境公社は、

東京都の環境行政を支援・補完する団体として、1962年に設立されました。

これまで半世紀以上にもわたる長い歴史の中で、

行政や企業、NPO等とタッグを組み、さまざまな環境問題に取り組んできました。

東京の環境に関するニーズは、一層多様化してきました。

今と将来の都民のより良い環境、そして安心・安全な暮らしのために、

これらのニーズに果敢に挑戦し続ける。

それが私たち東京都環境公社です。

私たちと一緒に環境のためにできること、はじめませんか？



概要

名称	公益財団法人 東京都環境公社
所在地	東京都墨田区江東橋四丁目26番5号
設立年月日	1962年5月14日
評議員会 評議員	9名
代表者 理事長	影山 竹夫
役員	理事6名 監事2名
職員数	370名(2017年4月現在)
基本財産	3億5千6百万円
事業規模	65億7997万円(2017年度予算)

沿革

1962年 5月	(財)東京都環境整備事業協会設立
1973年 12月	(財)東京都環境整備公社に社名変更
2005年 4月	地球温暖化対策推進ネットワーク事業開始
2007年 4月	東京都環境科学研究所 東京都より移管
2008年 4月	東京都地球温暖化防止活動推進センター事務所開設
2009年 4月	中央防波堤外側処分場関連事業の包括受託開始
2009年 8月	東京都知事より優良性基準適合認定制度第三者評価機関の指定を受ける
2010年 8月	本社を墨田区江東橋四丁目26番5号に移転
2012年 4月	公益財団法人 東京都環境公社に社名変更(公益財団法人へ移行)
2015年 4月	多摩分室開設(自然環境の保全等事業及び浄化槽法定検査事業開始)
2016年 7月	水素情報館「東京スイソミル」開設



資源循環の推進に貢献する

もともと私の親族が清掃業に従事していた経緯があり、以前からいろいろと話を聞いていたので、自然と清掃事業に関心を持つようになっていました。東京都環境公社は、行政を補完する立場であり、公社の担う清掃の仕事に就いて社会貢献をしたいと思ったのが入社動機です。

現在、私が行っている仕事は、中央防波堤にある中間処理施設で多種にわたる廃棄物を適正に処理するための分別処理業務です。ほとんどが現場仕事なので、とても活気のある職場です。その中で私は、係長として係の統括をしているのですが、業務を円滑に進めることはもちろん、一緒に働く職員の安全を守ることも重要な任務です。我々が行っている業務のすべてが都市環境の保全につながるので、とてもやりがいがあり、誇りの持てる仕事です。

私から見た “公社の魅力”

災害が起きたときに協体制をとるのも公社の使命。東日本大震災や伊豆大島土砂災害などでは現地に赴任し、微力ながら被災地復興のお手伝いのできたことがうれしかったです。

環境事業部 中防管理事務所 施設運営係
S・S 1991年入社

Case 1



Real Message

～先輩職員のプロジェク紹介

Case 2

里山と人をつなぎたい

私は、小笠原村の出身で、小学生までとても自然が豊かな環境で育ちました。そうしたことから自然環境分野に興味があり、前職では畜産・農業関連の独立行政法人に勤務していましたが、より環境に直結した仕事がしたいと考えるようになり、公社に転職しました。現在は、雑木林や田んぼなど貴重な自然が残る東京都の保全地域*で、保全活動を担うボランティア人材の育成に携わっています。

私の仕事は、少しでも多くの都民の方に東京の里山を知ってもらえるよう、「保全地域体験プログラム」といったイベントを企画・運営することです。初めて参加の方が里山の自然に触れ、関心を持ってくれたり、一度参加した方が友人を誘ってリピーターとして参加してくれるなど、里山保全活動に参加する人の輪が広がっていくことにとってもやりがいを感じています。



私から見た “公社の魅力”

仕事はみんなで一丸となって行うので何よりチームワークの良さを感じます。それでいて自分の意思を尊重してくれるので、とても居心地の良い職場です。

環境事業部 環境事業課 緑地保全係
M・O 2015年入社

*「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、50の保全地域(約758ha)が指定されています。(2016年度末現在)

東京から地球温暖化対策を進める

私の仕事は、東京の地球温暖化対策の推進です。エネルギーの一大消費地である東京は、この分野で重要な役割を担っています。

私は、2010年に技術職として入社した後、清掃工場の維持管理等のコンサルティング業務に従事していました。その後2016年からこの職場に配属となり、都内に数多く存在する中小規模事業所の皆さんから提出される地球温暖化対策報告書の審査をしています。この報告書は、事業所のCO₂排出量が簡単に把握できるもので、事業所の皆さんに省エネ対策を実施していただくことが目的です。地球温暖化対策は、私にとって初めての業務で配属当初は実務に不慣れでしたが、先輩方のフォローを受け、今では事業者の方々から頼りにされるようになるなど、日々の成長を実感しています。



私から見た “会社の魅力”

関連する資格の取得や知識の習得に対するサポート体制も充実！業務に必要な研修はもちろん、自己啓発のための支援も用意されています。

総務部 東京都地球温暖化防止活動推進センター 支援制度担当
D・S 2010年入社



Case 3



Case 4

環境先進都市東京のノウハウを世界に届けたい

地方出身の私は、東京が日本を代表する環境先進都市であり、そのノウハウや技術が、他の都市に与える影響力の強さを常々感じてきました。前職で環境分野に関わる途上国支援の仕事を行っていたこともあり、東京の環境施策や技術をもっと幅広く世界に発信したいと考え、当社に転職しました。

当社では、都と連携して「資源循環分野に関わる国際協力事業」を実施しています。海外の大都市に共通する環境課題の解決に向け、都内及び海外でワークショップ、研修事業等を実施することが私の仕事です。昨年度まで実施していたヤンゴン市との廃棄物処理改善プロジェクトでは、都内の事例を提示し、ヤンゴン市の事業概要、安全作業マニュアル、ごみの分別チラシを作成しました。それらの成果物をヤンゴン市の職員が自発的に活用している姿を見て、とても感動したのを覚えています。



私から見た “会社の魅力”

会社には数年毎に人事異動があります。色々な分野で経験を積むことが出来るため、環境の課題に対し多様な側面を考慮しながら解決する力を身につけられるところが魅力です。

環境技術部 技術課 国際協力事業担当
Y・N 2015年入社



環境にやさしい水素社会を実現する

私の主な仕事は、水素社会の実現に向けた水素エネルギーの普及広報業務です。会社では、目に見えない水素のことや水素社会の将来像について、楽しく学べる水素情報館「東京スイソミル」を運営しています。

前職では環境とは全く異なる分野で広告媒体をつくる仕事をしていました。入社して間もなく、この東京スイソミルで民間企業と連携した普及広報イベントの企画運営に携わり、試用期間中ではありましたが、自分のスキルを活かし、上司や先輩の丁寧なサポートもあってイベントを大好評のうちに無事終了することができました。この時、大きな達成感も得ることができました。

こうした経験から、会社は環境分野の未経験者へのサポート体制もしっかり整っている組織だと改めて思いました。

私から見た “会社の魅力”

女性職員のためのワークショップも開催しており、女性ならではの悩みや不安も気軽に相談できます。産休・育休も取りやすく、女性も安心して働ける職場ですよ！

総務部 経営企画課 事業創出戦略広報室
Y・S 2017年入社



Case 5



Case 6

東京の環境と向き合うヒトを創る

会社の管理部門として人事や経理の仕事をしています。業務上、おのずといろいろな部署の職員と接するので、組織全体を把握できるのがこの仕事の魅力です。人事では主に採用関係に携わっているのですが、人材は組織の財産ですので、どんな人材がこの仕事に向いていて、どういう人材を採るべきなのか、つねに慎重に検討しています。そういったなかで組織に合った方が入社され、所属部署でイキイキと働いている姿を見ると喜びを感じますね。

環境に関わる事業は、時代ごとの背景や出来事によってどんどん変わっていくもの。会社の仕事はいろいろなことに興味をもちフレキシブルに動いていける人にとって、とても面白くやりがいのあるものだと思います。

私から見た “会社の魅力”

なんといっても充実した福利厚生です。英会話教室も行われており、受講料の一部を会社が負担してくれるので私も積極的に受講しています。

総務部 総務課 人事係
N・H 2014年入社



ともに「持続可能な都市東京」の実現に 挑戦しよう!

地球温暖化防止のための国際条約「パリ協定」が発効し、Below 2°Cの実現に向けて、世界中が走り出しています。折しも東京では、スポーツ、文化、環境を柱とする2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を控え、東京の街は大きく変貌を遂げようとしています。

持続可能性に最大限配慮したオリンピック・パラリンピックとともに、環境先進都市・東京の実現のため、東京都の環境施策も大いなる進展が求められています。そして、その環境施策を支援・補完する当社に期待される役割も増大しつつあります。

このような重要な役割を着実に果たすためには、職員ひとりひとりが持つ“力”が重要だと私は考えています。新しい分野の知見を進んで吸収する、創意工夫により仕事に付加価値をつける、自ら新たな事業を創出する。ともに汗をかき、知恵を絞り、持続可能な都市東京の実現に挑戦し続ける。

当社は、そんな仲間に出会えることを楽しみにしています。

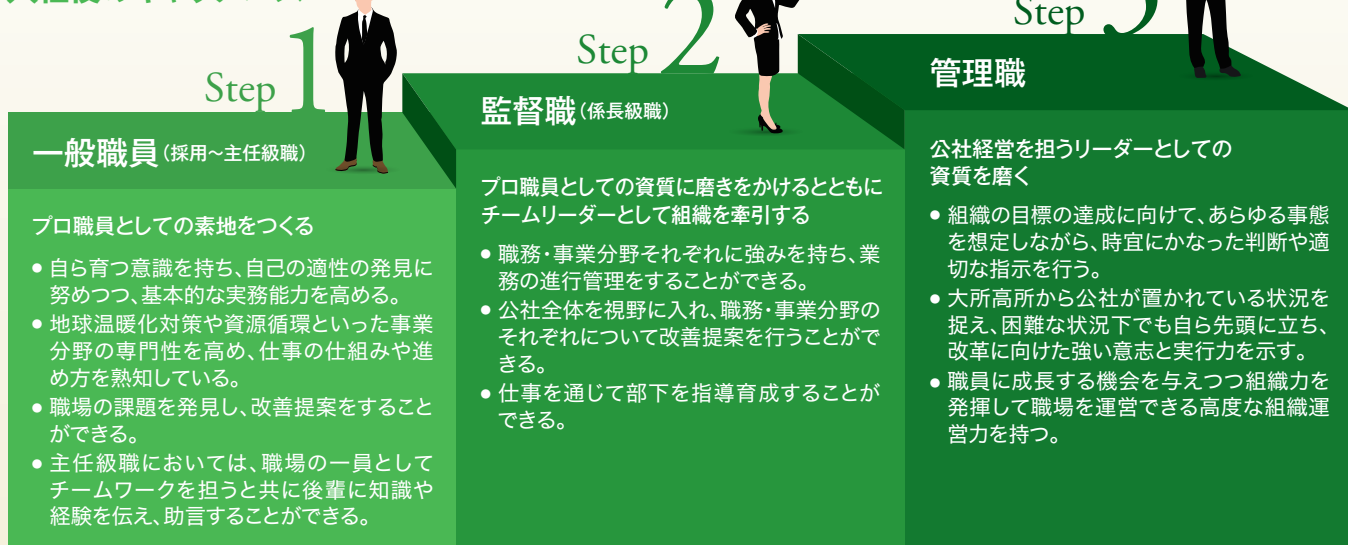


理事長 影山 竹夫

ヒトと環境、つながる仕事

職員がいきいきと活躍できる職場の創出に向けて

入社後のキャリアパス



※専門性の確保や実務能力の向上を図るため、適切なジョブローテーションを実施します。

※昇任選考制度を設けており、昇任できる機会は平等に与えられています。

教育研修制度

職層別研修

新任研修、係長研修などで、職層別に求められる役割を自覚し、必要なスキルを身につけます。

ナレッジマネジメント研修

地球温暖化対策、資源循環の推進など公社が蓄積したノウハウの共有化を図ります。

資格取得支援制度

ビジネス英会話、第三種電気主任技術者など各種資格の取得を支援します。

チューター制度

新入職員が早く公社の仕事に慣れることができるように世代の近い先輩職員がフォローする制度です。



公社や地域のさまざまなイベントにも職員が活発に参加!
普段の職場とはまた違った笑顔の職員たちがいます。



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



公益財団法人 東京都環境公社

Tokyo Environmental Public Service Corporation

☎03(3644)2189

<https://www.tokyokankyo.jp>

